

経営学演習Ⅰ

必修 2単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、修士論文の作成のため必要な研究指導を行う。それにより、博士前期課程1年次前期までに習得しておくべき基礎理論と研究方法論の習得を目指す。

2. 授業の到達目標

- ・博士前期課程1年次前期終了時までに習得すべき研究方法論の習得
- ・院生自身の研究領域における先行研究の検討と先行研究における自身の研究の位置づけの明確化

3. 成績評価の方法および基準

- ・研究の進捗状況(年数回課す研究報告) 50%
- ・演習内での討議への貢献度 50%

で評価する。60点以上を合格とする。

遅刻、無断欠席は厳しく対応する。やむを得ず欠席する場合は、事前に大野に連絡すること。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

大野貴司 人間性重視の経営戦略論—経営性と人間性の統合を可能とする戦略理論の構築にむけて— ふくろう出版

5. 準備学修の内容

報告日においては、当日までに研究の進捗を報告するための資料(修士論文の中間報告、進捗状況の報告をまとめた文書)を作成すること。報告日ではない日においても修士論文作成のために必要な文献の読解と修士論文の作成に努めること。

6. その他履修上の注意事項

- ・担当教員の研究業績と大きく外れる研究テーマを希望する場合は研究テーマを変更してもらう(修士論文の内容に責任を持った指導を行うため)。
- ・本演習の履修条件として学部で卒業論文を書いていることを求める。学部で卒業論文を書いていない院生の履修も認めるが、学部で卒業論文を履修していない院生には年度末に12000字程度のレポートの提出を求める。
- ・オンライン授業の実施回については演習内で指示する。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、各自の研究上の関心の紹介・プレゼンテーション
- 【第2回】 先行研究の検討①(どのような研究があるのか)
- 【第3回】 先行研究の検討②(先行研究の特徴、傾向の整理)
- 【第4回】 先行研究の検討③(国内主要学派の検討)
- 【第5回】 先行研究の検討④(国内の主要学派以外の学派の検討)
- 【第6回】 先行研究の検討⑤(国内の主要学派以外の学派の問題点の整理)
- 【第7回】 先行研究の検討⑥(海外の研究の整理)
- 【第8回】 先行研究の検討⑦(海外の研究の主要学派の検討)
- 【第9回】 先行研究の整理⑧(海外の主要学派以外の学派の検討)
- 【第10回】 先行研究の検討⑨(到達点の整理と問題点の提示)
- 【第11回】 関連研究の検討①(関連研究の整理)
- 【第12回】 関連研究の検討②(関連研究の問題点の提示)
- 【第13回】 1～12回を踏まえた上での先行研究における問題点の提示と自身の研究上の問題意識と視点の提示
- 【第14回】 受講者による研究テーマと方法論に関するプレゼンテーションと討議
- 【第15回】 今後の研究の進め方に関する個別指導